



「健康だからと油断せず、情報をキャッチしていきたい」と里崎さん。(左から里崎さん、佐田さん、鎌村さん)

# 徳島の健康寿命を延ばそう

### 心疾患における予防から医療・福祉サービスまでのシームレスなサービス提供を目指して

見直そう生活習慣!



なぜ、徳島県は全国の平均よりも健康寿命が短いのか。がんが次に死因となっている循環器病を防ぐためには? そんな徳島の現状や課題、産学官が一体となった先進的な医療体制などについて、徳島出身の元プロ野球選手・里崎智也さんをゲストに迎え、徳島大学の佐田政隆さん、徳島県の鎌村好孝さんの3名による座談会が行われました。



佐田 政隆  
徳島大学大学院医歯薬学研究所  
循環器内科学分野 教授

## 知ってる? 徳島県民と心疾患のこんな関係性

●徳島県民の健康寿命は全国と比べて、どのような状況になっていますか?  
鎌村 令和元年の厚生労働省調査によると、徳島では男性が72.1歳で全国39位、女性が75.0歳で36位となっています。全国平均よりも健康寿命が短い原因の一つとして考えられるのが、循環器病患者数の多さです。昨年の死亡原因を見ても、心臓の病気で脳血管疾患を合わせた循環器病による死亡割合が20%超と、がんの23.8%に次ぐ数字となっています。里崎 循環器病ってどんな病気なんですか?  
佐田 主に心臓や血管の病気のことですが、たとえば脳卒中は脳の血管に障害を起し片麻痺になると、介護が必要

表1 健康寿命男女別状況

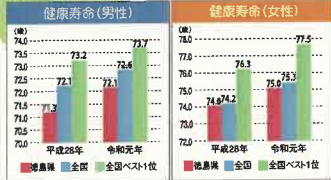


表2 徳島県の死因別死亡割合



この期間をいかに縮めていくかが大切ですね。  
里崎 僕自身、一番駄目なバタンだと思ってます。すぐと診で「数値が悪く」と実際に言われないと健康なうちは予防の意識が薄いですよね。どういう生活習慣の人が循環器病になりやすいですか?  
佐田 血圧やコレステロール値が高い人は危ないですね。肉食中心の方は気を付けた方が良さいかも。運動不足、生活習慣病と密接に関わっています。



鎌村 好孝  
徳島県保健福祉部  
感染症・疾病予防統括担当

## 産学官の連携で循環器病対策の先進県に!

●現在、徳島県が進めている循環器病対策とは、どのようなものですか?  
鎌村 佐田教授にも多大なご協力をいただきながら、昨年10月、国の基本法のもと「徳島県循環器病対策推進計画」を策定しました。循環器病の予防から医療・福祉サービスまでが途切れることなく提供され、県民一人ひとりがその人らしく暮らせる「徳島づくり」を推進しています。

われているみたいですね(笑)。徳島で1次産業に従事されている人も多く、普段から体を動かしている方が多いように思っています。  
佐田 働いてるうちは体を動かした後に発症するケースもありません。喫煙も循環器病のリスクとなるので注意が必要です。一方で、循環器病はがんと違い、重症化予防を行うことができません。ぜひ、普段から生活習慣病予防を心掛けてください。



里崎 智也  
徳島県門門市出身  
元プロ野球選手・野球解説者

●最後に県民の方々へのメッセージをお願いします。  
里崎 産学官が力を合わせ、こんなにも僕たちの健康をサポートしてくれていることを、今日まで知りませんでした。僕は門門市の移住大使をやりましたが、徳島県には全国的にも優れた医療体制のバリエーションがあることを多くの方々に伝えていきたいです。  
佐田 私が徳島に赴任して15年目になりますが、東京や大阪に匹敵する新しい技術を徳島にも導入し、心臓移植以外

生活習慣病が心疾患につながることをご存じですか?  
柔軟なアイデアを取り入れながら情報発信を続けてまいります。  
里崎 県民の立場からすれば、それがアンテナを張って、有益な情報をしっかりとキャッチしたいですね。いくら生懸命に伝えていたとしても、受信力が鈍感だと大きな成果につながりません。循環器病の予防や治療を先に進めるためには、僕たち二人の意思が大事になる。情報を届ける側と受け取る側のアンテナを張っていきましょう。